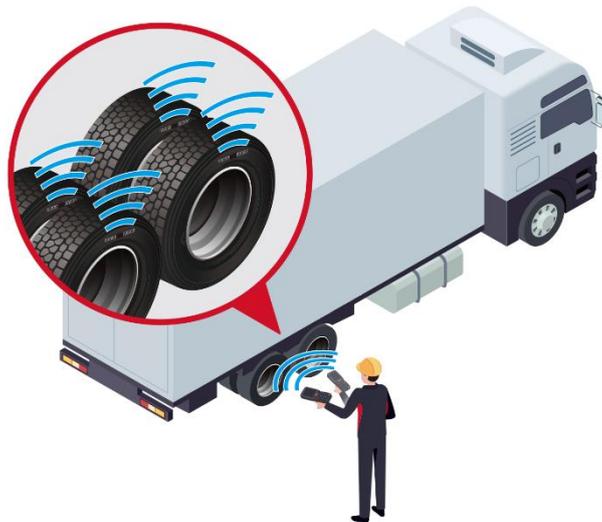


2022 年 10 月 28 日  
株式会社ブリヂストン  
トッパン・フォームズ株式会社

## ブリヂストンとトッパンフォームズが通信性能を最大化する タイヤ用次世代 RFID タグの開発とその実装に向けた共同開発を開始

株式会社ブリヂストン（以下、「ブリヂストン」）とトッパン・フォームズ株式会社（以下、「トッパンフォームズ」）は、これまで基礎検討を積み重ねてきたタイヤ用次世代 RFID<sup>※1</sup> タグの早期実用化に向けて、実装技術の共同開発を 2022 年 10 月より開始します。

ブリヂストンとトッパンフォームズは双方の企業理念やビジョンなどへの共感を基に、両社が持つ技術を活用した非接触型個体管理技術のタイヤへの適用の可能性を探ってきました。今回の共同開発では、ブリヂストンが持つタイヤ開発・製造技術とトッパンフォームズが持つ RFID 分野の技術を融合し、より離れた位置から正確に通信できる次世代 RFID タグの開発とタイヤへの実装技術の確立を目指します。これにより、生産日時、工場検査情報、出荷日時、車両への装着日時、各種タイヤ点検情報など、個々のタイヤに関する様々なデータをより早く・より容易に管理することができるようになります。



車両に装着されたタイヤの個体情報の登録・確認作業のイメージ  
より離れた位置から正確なデータ読み取りが可能に

現状、輸送業者様やタイヤ販売店の現場におけるタイヤ個体管理については、タイヤ 1 本毎に目視で確認作業が行われています。トラック等に装着されているタイヤを確認するためには、車両下に潜り込んだり、タイヤを取り外す必要があり、現場での作業負担が大きくなることが課題となっています。

ブリヂストンとトッパンフォームズは今回の共同開発を通じて、RFID タグの通信性能を大きく向上させ、既存技術では難しいより離れた位置からの正確なデータ読み取りを実現します。この次世代 RFID を実装することにより、デジタルによる遠隔でのタイヤデータの読み取りやシステムへのデータ接続が可能となり、作業時間の短縮や安全性・作

業性の大幅な改善につなげることができます。人手不足も課題となっている現場の作業を効率化し、作業負担の軽減と作業時の安全性のさらなる向上につなげていきます。また、タイヤ 1 本毎の走行距離やメンテナンス履歴などの情報を次世代 RFID 通じ入手し、分析することで、ブリヂストンが提供する最適なリトレッド<sup>※2</sup>、メンテナンスなどのサービス・ソリューションも進化させ、それぞれのお客様のオペレーションに合わせた提供が可能となります。こうした取り組みを通じ、1 本のタイヤの価値を最大化し、タイヤを安全に、長く、上手く、効率的に使用頂くことにより、CO2 排出量削減や資源生産性の向上を通じて、カーボンニュートラル化、サーキュラーエコノミーの実現にも貢献していきます。

株式会社ブリヂストン 常務役員 ソリューション・探索・化工品事業開発管掌 草野 智弘のコメント

ブリヂストンは、世界中の様々な現場でお客様に寄り添うサービス・ソリューション拠点をベースにしたブリヂストン独自のリアル x デジタルプラットフォームを通じて、「断トツ商品」<sup>※3</sup>、「断トツサービス」、「断トツソリューション」を提供しています。このリアル x デジタルプラットフォームの深化には RFID が必要不可欠と考えており、2019 年に欧州から RFID を実装したトラック・バス用タイヤの展開を開始しています。今回、より高度な個体管理を可能にする RFID 技術の開発とタイヤへの実装に向け、多くの知見を有するトッパンフォームズと共同開発を進めていくことに大きな喜びと可能性を感じています。当社はこの取り組みを通じ、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」<sup>※4</sup>で掲げる「Efficiency モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化すること」、「Economy モビリティとオペレーションの経済価値を最大化すること」にコミットしていきます。

トッパン・フォームズ株式会社 企画販促統括本部 執行役員統括本部長 巢山 幸一のコメント

デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速や、労働力不足・働き方改革を背景とした業務効率化の進展など、社会環境は大きく変化しています。既存の業務プロセスの効率化を目指すだけでなく、製品・サービスやビジネスモデルの変革を目指す世の中になってきています。この「DX」に欠かせないキーテクノロジーの一つとして、RFID が注目されています。トッパンフォームズでは過去 20 年来、RFID を開発/製造/販売してきました。今までの経験値、蓄積した技術力を生かし、タイヤ・ゴム業界のリーディングカンパニーであるブリヂストンと技術の融合を行い、RFID 実装タイヤを実現することで、モビリティ変革の一助となるべく、取り組みを進めてまいります。

※1 RFID（Radio Frequency Identification）は、電磁界や電波などの無線通信を用いて、IC タグなどの情報を非接触で読み書きする自動認識技術です。

※2 すり減ったタイヤを再利用するために表面（トレッド）のゴムを貼り替えること。

※3 「断トツ」とは企業としての目標を指します。

※4 ブリヂストングループは、「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。これを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる 8 つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2022030101.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ブリヂストン

< 報道関係 > 国内広報部 TEL：03-6836-3333

< お客様 > お客様相談室 TEL：0120-39-2936

トッパン・フォームズ株式会社

経営企画本部広報部 TEL：03-6253-5730